

春夏秋冬さんの体験記第1話です。

妊娠前：

仕事の毎日、家庭は2番目。その毎日が楽しかったのですが、子どもが欲しかったので、その思いは主人に伝えていました。

妊娠中～出産：

妊娠がわかったときは、ものすごくうれしくて今も妊娠検査の陽性反応は携帯のカメラの中に残っています。

妊娠中も仕事はハード、2ヶ月から出産前までつわりが続き、特に5ヶ月まではご飯を食べて数時間後吐いたら楽になりお風呂に入ったりできていた。後期に入り、途中覚醒が夜中数回あったけど、先輩ママに聞いたらその経験が子育てに役立つといわれ納得。

やっと産前休暇に入ったら、楽になってきて実家に頼んでいた食事も自分で作れるようになって、歩いて買い物に行ったり…と楽しんでいた。

でも夜中の覚醒は続いてはいたけど、昼寝ができていたので特になんにも思っていなかったし、先生にも相談するまではないと思い、相談なく過ごしていた。実家には病人がいたため、母に子どもが生後1ヶ月くらいまで通ってもらったら何とかかなると思い、里帰りはしなかった。

おしるしがあったときは出産に望むにあたって急にカツが食べたくなり、その夜はカツを作って主人と食べた。おしるしの後、一日たったら不規則に陣痛が始まり、規則的になって夕方病院へ。

それから明け方の朝日を浴びながらみんなに祝福されわが子は誕生した。ほんと安産だったと思うし、これからのこともわからず、ただ幸せなときを過ごした。

(続く)